



# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
つくば市千現1-18-5-101

2014年1月  
vol.37

Tel & Fax: 029-859-0264 tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

## もう原発はいらない!! 福島から守るぞ

「福島は今、どうなっているのだろう。避難している人々はどんな毎日を送っているのだろう。震災から3年近くが過ぎ、過去形になっていないだろうか」との思いで、

昨年11月に「原発とエネルギーを考えるフォーラム」福島の今、つくばの今」を開催しました。地元の方の案内で、避難指示の出ている飯館村から南相馬、浪江町に行つた代理人の北口・宇野により報告が行われました。

示された多くの写真に「時が止まる」という表現を、初めて目にした気持ちです。3月11日の朝、通勤・通学で止めて行った

自転車が、2年以上経つてもそのまま整然と並んでいる駅前駐輪場の写真。



南相馬市小高駅の駐輪場

21世紀に「平和」な日本では生活する私たちには異様でしたが、これが現実。もう原発はいらない、と突きつけられた一枚でした。

フォーラムへ参加していた南相馬からつくば市内へ避難している方が「とにかく一度自分の目で見てほしい」と話して下さいました。今後は、より多くの人が現地を訪れるような機会を作りたいと思います。

大惨事によって与えられた最大の学びは、原発の限界と私たちが本当の意味での豊かな暮らしを目指すこと。『ゆっくり急いで』真剣に向き合つて模索するときです。

### 原発に頼らない エネルギー政策へ

現在、国内の原発は1基も稼働していません。それにもかかわらず、政府は原子力をベース電源とするエネルギー

政策を進めようとしています。しかし、現在の発電所の効率化を図り、省エネ技術を本格的に導入したり、再生可能エネルギーを活用したりすることで、原子力に頼らない電力供給が望めます。

脱原発の推進と、再生可能エネルギーの実践は、切り離しては考えられません。

### 2014年を迎えて

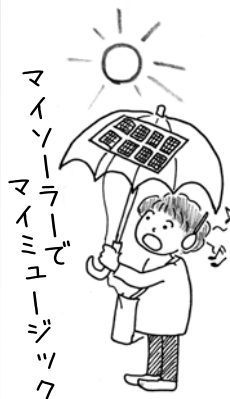
つくば・市民ネットワークは今年10年の節目を迎えます。始まりは、毎日の生活にとよぎった疑問を放っておけない何人かが言い出した市民活動の小さな芽でした。

市民ネットは、市政に市民の意見を反映させたいと作り出した市民参加のしくみです。地方政治はプロの政治家にお任せではなく、大勢の市民が進めていくものだという考えは、10年たった今でも変わりません。

昨年は政策の柱に脱原発が加わりました。誰もが安心して暮らし続けられるまちを作っていくために、必要な政策をその都度議論しながら活動とともに広げていきます。

まちは住む人が作っていくもの。小さな意見もないがしろにせず、大切に取りくんでいきたい。つくば・市民ネットワークは今年も市民自治を目指します。

代表 瀬戸裕美子



2014年、つくば・市民ネットワークは、脱原発と再生可能エネルギー社会を目指して活動していきます。  
エネルギーをふんだんに使う生活からの転換を図り、人にも自然にもやさしい暮らしを目指し、私たちにできることを共に考えていきましょう。

# 障害のある子ども達への特別支援教育の充実を



つくば市議会議員  
文教福祉常任委員  
**宇野 信子**

## 一般質問項目

- ・障害のある子供たちの支援
- ・行政経営懇談会の評価の活用
- ・総合計画策定の進め方

市民ネットには、障害のある子ども達への特別支援教育の内容及び支援員配置についてまだまだ不十分という声がたくさん寄せられています。そこで一般質問で現状を確認し、改善に向けた提案を行いました。

例えば、ある小学校では支援の必要な子どもが40人位いるが、支援員は3人しか配置されています。実際に必要な人数の支援員を配置して欲しいと求めたところ、教育長は「支援員は教員を補助するもので、子ども1人に1人の支援員配置はしない」と答弁。

しかし実際には、特別な支援が必要な子どもは年々増えており、子ども達にも教員にも負担がかかっています。これを解消するためにも、現場で必要な人数の支援員配置を要望しました。



また、障害のある子どもには一人一人の障害・課題に合わせて個別支援計画が立てられています。その内容を保護者と共有し、学校と家庭で一貫性のある支援を行うことが大切ですが、見せてもらっていないという声があり、現状を確認しました。教育長は「年度初めに保護者と話し合って作成し、個別支援計画に保護者印を押している。学期ごとに評価も保護者が行っているはず」と答弁。しかし、現実にはできていない学校もあり、徹底するよう要望しました。

**個別支援計画の上手な活用は、より効果的な支援につながります。**計画の元になる「育ちと学びの応援ファイル『すくらむ』」を、子どもを持つ全家庭に配布している北海道上川地域の実践例を紹介し、つくばでも取り組むよう提案しました。

# 地域で見守りネットワークを広げよう

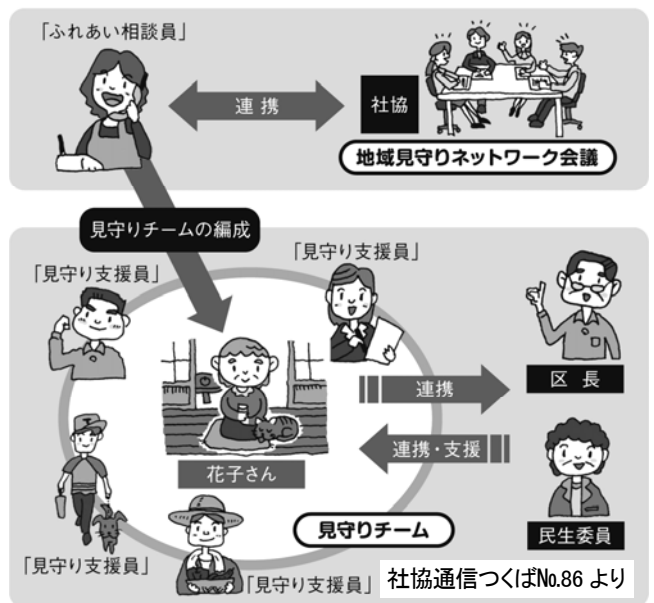


つくば市議会議員  
環境経済常任委員  
**皆川 幸枝**

## 一般質問項目

- ・高齢者が住み慣れた地域で暮らすための「見守り」
- ・放射線対策
- ・給食費の値上げと質の向上

見守りチームづくりのイメージ図(ひとり暮らしの花子さん場合)



これまで市民ネットには高齢化に関わる様々な課題への声が届いており、議会の一般質問などを通して行政へ働きかけて来ました。荏苒や筑波地区などで、急速に進みつつある高齢化の中で、高齢者が地域で暮らし続けるための仕組み作りが早急に必要と望まれました。

地域コミュニティの活性化も期待できます。12月議会では、この事業に関して、市と社協の連携を確認し、市民から市に問い合わせがあった際に、「わからない」ということがないように十分な対応を要望しました。

要です。つくば市社会福祉協議会(社協)が開始した「地域見守りネットワーク事業」は、「ふれあい相談員」を中心に、地域の民生委員や区長さん、ご近所さんが協力し、対象者を見守る、というものです。この事業の推進により

# ムダをなくし、福祉費確保と利便性アップを!



つくば市議会議員  
総務常任委員会副委員長  
北口ひとみ

## 一般質問項目

- ・ 中心市街地のまちづくり（緑の保全等）
- ・ 自治基本条例あり方検討会（進捗と課題）
- ・ ファシリティマネジメント

かつて、一斉に作られた公共施設が今また一斉に老朽化し、建て替えの時期を迎えています。一方、少子高齢化が進み、税収は減るが福祉費は増大するという財政上の課題はさけては通れない昨今です。多くの自治体でも同様の課題に直面しており、その解決に取り組んでいます。

例えば、秦野市では、市役所の敷地内にコンビニを誘致し、24時間、図書館の図書返却受付・市刊行物等の販売・住民票の受取サービスを受けられるようにしました。土地の賃料は年間1200万円。土地の有効活用、収入アップ、職員を配置せずに市民の利便性アップ、と一石三鳥の事例もあります。

また、佐倉市では23ある小学校の上下水道料金のデータ分析や比較を行い漏水対策と流量調整をした結果、年間1300万円の削減ができたという例もあります。

このように、経営戦略的な視点から総合的に企画・管理・活用する手法をファシリティマネジメントといいます。成功の鍵は「現状の“見える化”と「職員・市民が課題を共有し、段階的かつ計画的な推進」といわれています。そこで、つくば市の現状を質問しました。

目下、行政では300近くある公共施設のデータの一元管理に苦戦しているとの答弁で、現状把握もままならぬ状況です。縦割りの庁内を横断的に集中して取り組む体制づくり、専門知識を持つ職員の育成や導入を提案しました。

将来に負担を残さず、市民が困らぬよう、早急にファシリティマネジメントに着手するよう働きかけていきます。

## 無くなる放射性物質

現在、除染基準は空間放射線量0.23マイクロシーベルト（ $\mu\text{Sv/h}$ ）以上、焼却灰の埋立て基準はセシウムで8000ベクレル（ $\text{Bq/kg}$ ）となっている。最近の市内の空間放射線量は0.1  $\mu\text{Sv/h}$  前後、放射能は落ち着いてきたように感じる。

一方、11月に市内中心部のある交差点の土壌を採取し、市民測定所に依頼し計測したところ、7340  $\text{Bq/kg}$ であった。3.11以前、研究所などでは100  $\text{Bq/kg}$ でも厳重な管理のもと、放射性廃棄物として処分していた。

私たちは放射性物質に慣れてしまい、行政も除染完了宣言を出し、安全であると言いたげである。しかし、チェルノブイリの教訓は問いかける、“この数値で安全と言えるのか？”と。

健康調査の実施、教育機関や施設への情報発信、除染継続が行政には望まれる。放射能対策を継続し、データを蓄積・検証していくこと、それが原発を容認してきた私たち大人の、未来や子ども達に対する責務である。



## 一歩ずつ前へ! 議会改革

つくば市議会では「開かれた議会」を目指し、議会改革に取り組んでいる。これまでも、一問一答の復活やインターネット中継などに取り組んできた。

この度、より多くの市民の声を聞き、情報を伝えようと11月10日（日）庁舎で市民へ向けた議会報告会を実施した。



議会が市民へ報告を行うのは初めて。「答えられない事案や提案にどう対応をする？」など様々な不安も出されたが、先進自治体を参考に慎重な協議を重ね「まずはやってみよう！」と相成った。

今回は試験的な要素も多く、参加が区長会や幼小中PTA・保育園の保護者会代表に絞られ開催。前半は各委員会での議案審査の様子と結果を報告し質疑応答、後半は意見交換会を行った。参加者から「専門用語の多用はわかりにくい、報告会自体の進め方の工夫や資料がもっと必要、少人数に分かれて対話形式にしてはどうか」など、更に充実した報告会を要望する意見や提案が続出した。

今後は、参加者の制限なく、よりオープンな議会報告会を始め、更なる議会改革を進めていきます!

## 傍聴席から

初めてつくば市議会の傍聴に行ってきました。議員席に市民ネットワークの代理人3人を見つけました。同じ会派は近くに座ると思いこんでいましたが、違うのですね。

12月は決算もあるから、長くなるかもとは聞いていましたが、採決に入るまではずいぶん時間がかかりました。議会用語に慣れないせいか分かりづらいところも多々ありましたが、初めての傍聴という緊張で最初は耳をそばだてていました。途中からなんとなく流れがわかってくと、繰り返される同じような用語に眠くなってきました。なんとなく想像していた議会と違うなあ～。

審議事項に入り、つくば市総合運動公園建設関連について興味深く聞きました。わたしの前の列に座っていた男性4人はその採決が終わると帰ったので、その案件に直接関わる人たちののかもと思うと、議会で話し合われることはわたしたちに直接関わっているのだと、それは当然わかっていたのにわかっていなかったなあと変に実感しました。

市民ネットの代理人はしっかりと討論していてとても頼もしく感じました。これからも市民の目線でどんどん発言してください。(Y.S)

### つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 10/ 2 安全・安心調査特別委員会(宇野)
- 10/6,12/21 街頭議会報告
- 10/8,9 決算委員会(北口)
- 10/15,11/29,12/25 議会活性化推進特別委員会(宇野)
- 10/21,12/9 議会報編集委員会(皆川)
- 10/23 憲法について学習会開催
- 10/29,30 夢のみずうみ村(高齢者福祉施設)見学
- 10/31,11/1 道路交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会視察(北口)
- 11/ 2 2013つくば有機農業映画祭共催
- 11/5,6 安全・安心調査特別委員会視察(宇野)
- 11/9,10 つくばサイエンスコラボ2013(環境フェスティバル)出展
- 11/10 つくば市議会報告会
- 11/11,15,17 議員と話そう会開催
- 11/12 原発事故子ども被災者支援法集会&請願提出参加
- 11/13 つくば市高齢福祉出前講座
- 11/16 「放射能は地域をどう変えたか(菅野清一川俣町議)参加
- 11/18 原発とエネルギーを考えるフォーラム「福島は今、つくばの今」開催
- 11/19,20 観光開発推進特別委員会視察(皆川)
- 11/27 楽々大学「高齢者福祉施設見学会」参加
- 11/29~12/17 12月定例会市議会(北口、宇野、皆川)
- 12/ 7 「男・女(みんな)のつどい2013」参加(北口)
- 12/14 大豆畑トラストつくば収穫祭  
福島被害者からの訴えを聞く会&交流会共催
- 12/15 「世界が食べられなくなる日」上映会共催



※自治基本条例を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加。  
※テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会、学習会等へも多数参加しています(詳細はHPをご覧ください)。

12/15 世界が食べられなくなる日

## ～ 自主上映会を開催して ～

5月下旬に行った「モンサントの不自然な食べもの」に続き、小さい子を持つ親が中心となり「世界が食べられなくなる日」の自主上映をしました。

今回の映画内容は「遺伝子組み換え作物」と「原子力」の社会的構造が類似している点を強く訴える内容だったこともあり、「次世代に先送り」しないためにはどうしたらいいのかと、考えてもらえるきっかけになったのではと思いました。

また「遺伝子組み換え作物」が思った以上に実生活に入り込んでいる事実、驚きを隠せない様子が会場全体から伝わってきました。

「知らない」恐ろしさ、「知ること」による回避など、自分にできることは何か、消費者行動がどんなに重要かが伝えられたのではないかと思います。

「食はいのち」に直結する問題。これからも、たくさんの方に関心を持ってもらえるような機会を作りたいと思います。(上映会実行委員 N.S)

### 原発とエネルギーを考えるフォーラムII 福島原発事故後の現状と課題

講師:川俣町議 菅野清一氏

2月8日(土) 13:30～ 講演会  
15:30～ 交流会

つくば国際会議場 201会議室

主催:つくば市議会会派つくば・市民ネットワーク  
問い合わせ:TEL 029-859-0264

## ダンボール箱を使って「生ごみリサイクル」

～ダンボールコンポスト講習会～

3月14日(金) 10:30～12:00

竹園交流センター

実演を交えて、方法やコツをご紹介します。

議員と一緒に

## 話そう!会

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越しください。

2月 7日(金) 10～12時 二の宮交流センター

2月10日(月) 10～12時 荃崎交流センター

2月11日(祝・火) 14～16時 春日交流センター